

歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像 VOL. 4

4



重要文化財

木造

大日如来坐像

鎌倉時代／天野山金剛寺蔵

忍者みたいな手つきに見えますが、大日如来独自の智慧の深さを現すポーズだとか。

今回紹介する木造大日如来坐像（写真①②）は、天野山金剛寺にある多宝塔（重要文化財）の本尊として祀られています（現在は、多宝塔が保存修理工事のため、宝物庫に安置され、拝観することができます）。

大日如来は、真言宗において最も尊い仏とされ、宇宙の真理そのものを示しているとされています。至尊の仏にふさわしく、豪華な装身具を身に着けた王者の姿をしており、他の如来とは異なる姿で造られています。

大日如来には、金剛界大日如来、胎藏界大日如来の2種類があり、金剛界大日如来は智拳印を、胎藏界大日如来は法界定印を結んでいます。

本像は、像高が80・4センチあり、針葉樹とみられる材の一木造で、智拳印を結ぶ、金剛界大日如来です。

美しい庭園を通して宝物庫へ。今の季節は緑がきらきらして涼しげです。



宝物庫には楠木正成の自筆書状や五秘密曼荼羅図なども展示されています



仏像 ZOOM UP! +

古代インドの王族の姿をしており、宝冠をはじめ瓔珞（首飾り）などの豪華な装身具を身に着けている。これまでに紹介した仏像と比べると、如来でありながら、薬師如来、釈迦如来とは異なり、むしろ如意輪観音に近い姿をしている。

仏像まめ知識 ④ 素材と制作技法

6世紀に日本に伝わった仏像は、その特徴・技法に年代的变化がみられます。飛鳥～奈良時代は、金銅像、乾漆像（漆）、塑像（粘土）が多いのですが、平安時代以降には多くが木造となります。木造でも平安時代前期は一木造が主流ですが、次第に寄木造も増えていきます。



寄木造は図のように木材を組み合わせて造る技法です



河内長野駅からバスに乗車、「天野山」下車
 ▶拝観料：大人400円、中学生200円、小学生100円 ▶午前9時～午後4時30分

今月の歴女

奥田貴子さん

4月から市役所で介護高齢課に所属。「何百年も大切に受け継がれてきたものってわくわくしますよね。魅力的な河内長野の歴史を未来にしっかりつないでいきたいです」



発行／河内長野市 編集／市長公室広報広聴課 発行日／平成25年7月1日
 市役所／〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
 ☎0721-53-1111(代) FAX 56-1761 ☎54-1000(留守番電話)



広報かわちながの
 平成25年(2013年)7月号(No.1077)

ホームページ <http://www.city.kawachinagano.lg.jp> Eメール info-kw@city.kawachinagano.lg.jp
 お知らせ電話で(休日急病診療所の日程などを24時間案内) ☎0120-930-073
 市役所開庁日時／月～金曜日午前9時～午後5時30分(土・日・祝休日、年末年始を除く)